

知っているようで知らない身近な事実

授業の流れ

時間	学習内容	学習支援上の注意点
1時間目	<p>百科事典の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百科事典の特徴、使い方について(司書教諭より) ・百科事典(ポプラディア)を開いて知っているようで知らない身近な事実を探す(プリント①) 見出しだけでなく、項目を読んでみるよう伝える。 	<p>百科事典から発表の材料を探す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・百科事典に関するガイダンスを聞く。 ・百科事典を通読しながら、級友が驚きそうな事実を探す読み方をする。漠然と百科事典を読んだり、自分に必要な情報を集めたりするのではなく、百科事典の解説の中から級友が「へえ～」とってくれるような箇所を見つける。他者意識を持って読む。 <p>①自分が知っている事柄の項目を読む ②知らなかったこと、驚いたことを探す ③友人に紹介する形に直す</p>
2時間目	<p>スピーチ原稿の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っているようで知らない身近な事実を探す ・スピーチ原稿・スピーチメモの作成(光村教科書)(プリント②) 	<p>発表原稿・メモづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・級友が驚くように話す原稿を作成する。「私が驚いたのは～」「私が調べたのは～」といった表現は、あまり効果的でない。 ・原稿を読むのではなく、メモを時折確認するスピーチ。
3時間目	<p>原稿・メモの作成・推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿・メモの作成 ・リハーサル+推敲(暗記) × 3 ・グループ内でスピーチをして、スピーチ原稿のさらなる推敲を行う 	<p>発表時の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表時は「聞き取りやすい声」「適切な速度・間」「視線・表情・身振り」「聞き手を巻き込む」 <p>発表を聞くときの注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手は「うなずき」「あいづち」「驚き」のリアクションを取る。話し手に対して失礼のない、好意的な態度が発表者を助けることを学ぶ。
4時間目	<p>スピーチ発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿・メモの推敲、暗記 ・リハーサル+推敲・暗記 × 2 ・発表 	
5時間目	<p>スピーチ発表会、振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハーサル+推敲(暗記) ・発表 ・振り返り記入 	
6時間目	<p>振り返りの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り記入 ・振り返りの共有 	<p>振り返り(6時間目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを通じて話すこと・聞くことの学習の観点を学ぶ。

知っているようで知らない身近な事実 ～百科事典を引こう！～

1年 組 番 氏名

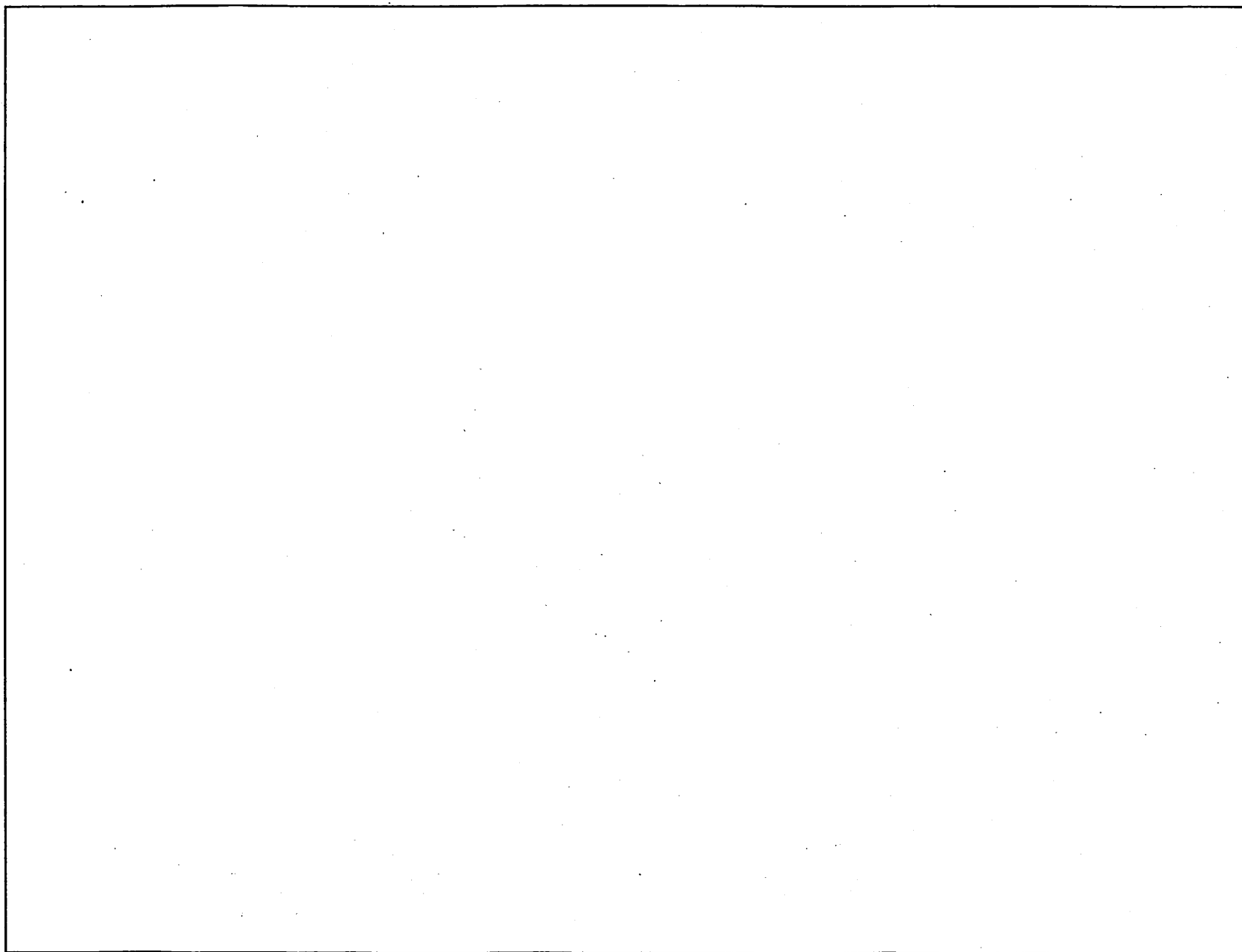
調べたこと（見出し）	ポプラディア	巻	ページ
調べたきっかけ			
解説を読んで重要だと思ったこと			
みんなに一番伝えたいことは？	驚いた	感動した	
	ためになった	知ってほしい	

スピーチメモ

1年 組 番 氏名

題

話し出しの言葉・キーワード (教科書56ページ)



単元 知っているようで知らない身近な事実 振り返り

1年 組 番 氏名

1. 百科事典から発表の材料を探す（よかった点、身に着けた力、自分の課題など）

--

2. 発表原稿づくり（よかった点、身に着けた力、自分の課題など）

--

3. 発表（よかった点、身に着けた力、自分の課題など）

--

4. 仲間の発表を聞くととき（よかった点、身に着けた力、自分の課題など）

--

5. あとがき

--